

2024年2月期

第2四半期決算補足資料

テクミラホールディングス株式会社

2023年10月13日



TECMIRA
Holdings

2023年10月20日より 東証プライムから 東証スタンダードに上場市場を変更

積極的な投資や新規事業など、**中長期的な企業価値の向上**に向けて
多面的な取り組みが可能となるスタンダード市場への移行を決定

中期経営計画の達成プロセスも見直し（10/19発表予定）

市場変更に際し、上場企業グループとしての経営理念を明示すべく
テクミラホールディングス株式会社へ商号を変更

経営理念

「**T**echnologyと**C**reativeで新しい**未**来を創る」

テ

ク

ミ

ラ

TechnologyとCreativeの融合により
ミラクル(驚き)を与えるサービス、
プロダクト、ソリューションを提供し
豊かで新しい未来を創造していく



I . 2024年2月期第2四半期 決算概要

- ◆コネクテッド事業の復調、コーポレートベンチャーキャピタル(CVC)創設に伴う投資有価証券売却益の計上等により経常増益を確保
- ◆純利益は法人税等調整額の益計上により法人税等が減少したことから前年同期比で2.2倍の増益、ROEは0.3ポイント増加

単位：百万円	2022.1H	2023.1H	前年同期比	
			百万円	%
売上高	3,795	4,134	+339	+9%
総利益 (%)	1,447 (38%)	1,446 (35%)	- (▲3p)	-
販管費 (%)	1,495 (39%)	1,481 (36%)	▲14 (▲3p)	▲1%
営業利益 (%)	▲48 (-)	▲34 (-)	+14 (-)	-
(為替差益)	(102)	(16)	(▲86)	▲84%
経常利益 (%)	53 (1%)	54 (1%)	+1 (-)	+2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (%)	15 (0.4%)	34 (1%)	+19 (+0.6p)	+118%
ROE	0.3%	0.6%	+0.3ポイント	

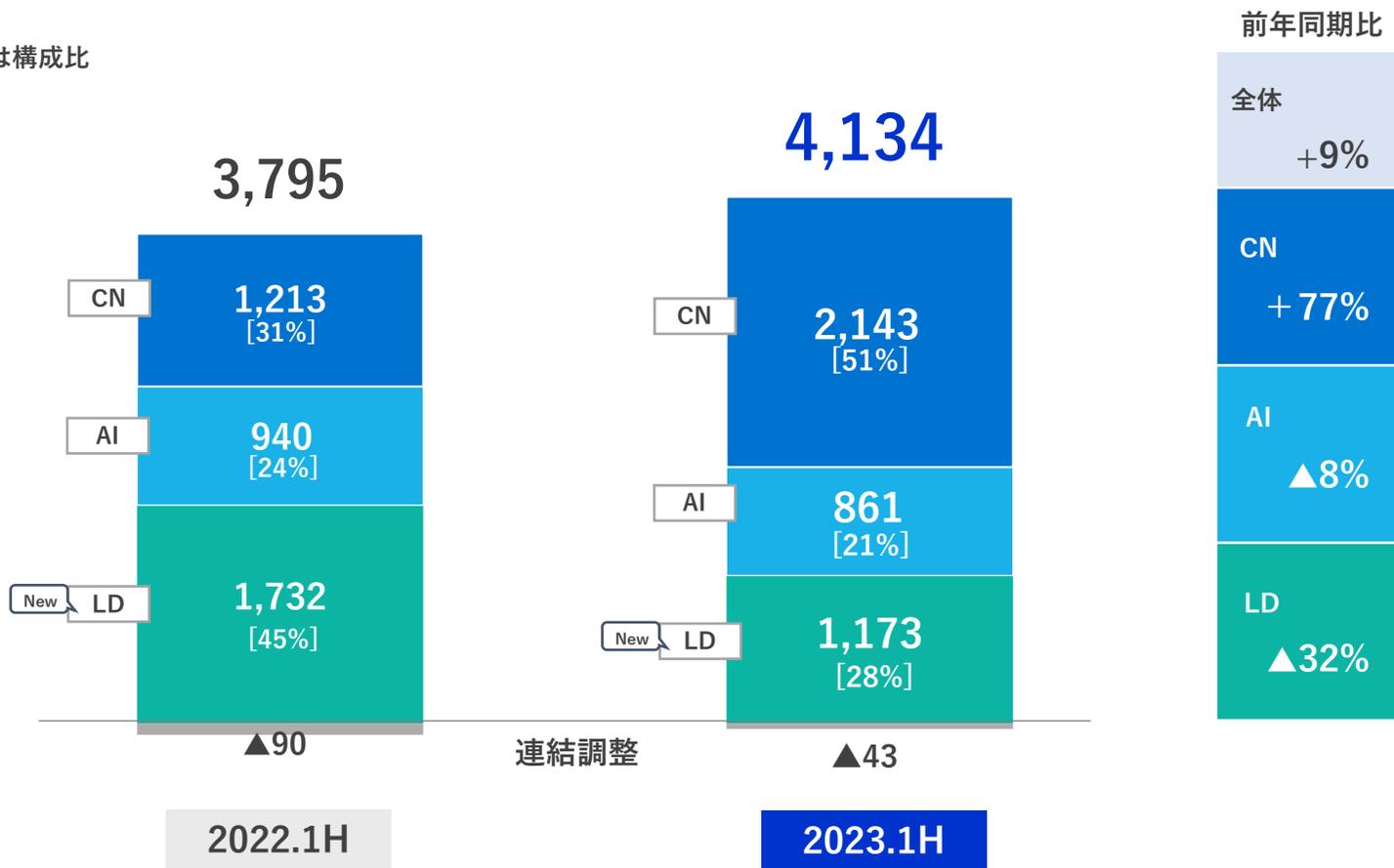
売上高は概ね予想通り、経常利益はコネクテッド事業の利益増やCVC創設による株式譲渡により期首予想比2.7倍、経常利益増に伴い純利益も予想比2.2倍へ

単位：百万円	期首予想 (上期)	実績	
			期首予想比
売上高	4,230	4,134	▲2%
経常利益	20	54	2.7倍
親会社株主に帰属する 当期純利益	15	34	2.2倍

Nintendo Switchソフトの海外販売一巡や、AI事業へのリソース集中による売上高減少をコロナ禍脱却によるCN事業の復調でカバーし全体としては9%の増収

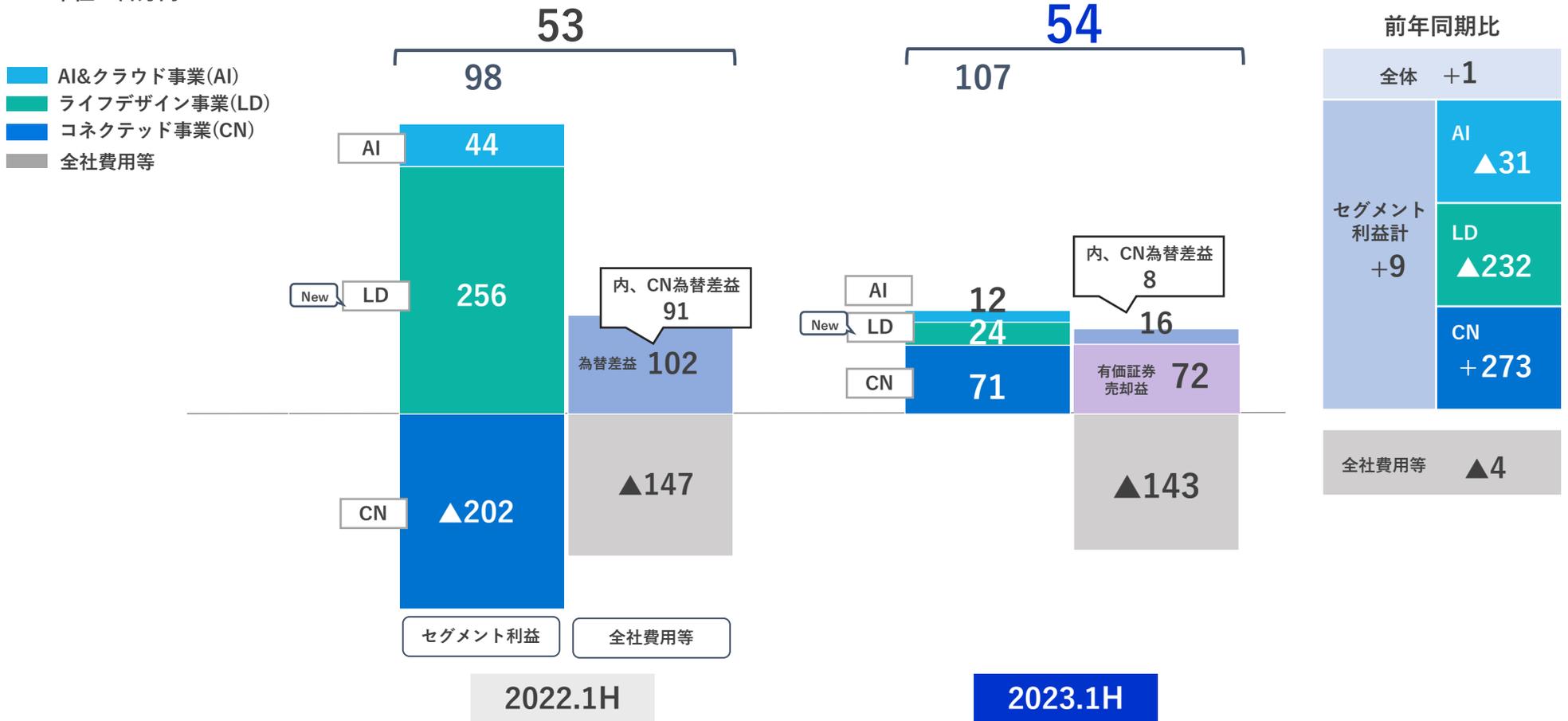
単位：百万円 []内は構成比

- コネクテッド事業(CN)
- AI&クラウド事業(AI)
- ライフデザイン事業(LD)



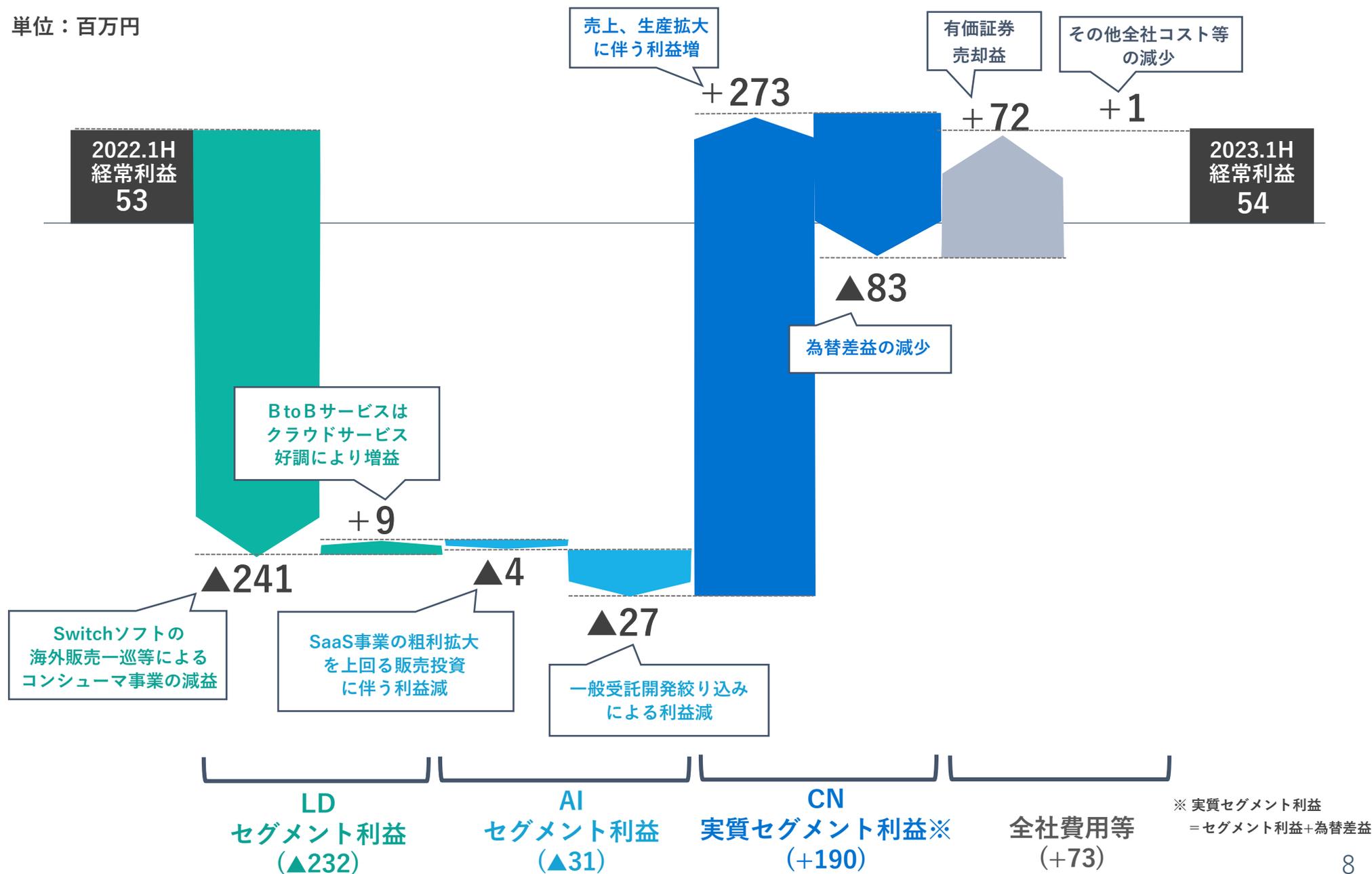
CN事業の黒字転換が他セグメントの減益をカバーしセグメント利益は9百万円の増益、全社費用等においては為替差益が落ち着くもCVC創設に伴う有価証券売却益の計上により、経常利益としては若干の増益

単位：百万円



経常利益増減要因 (対前年同期比)

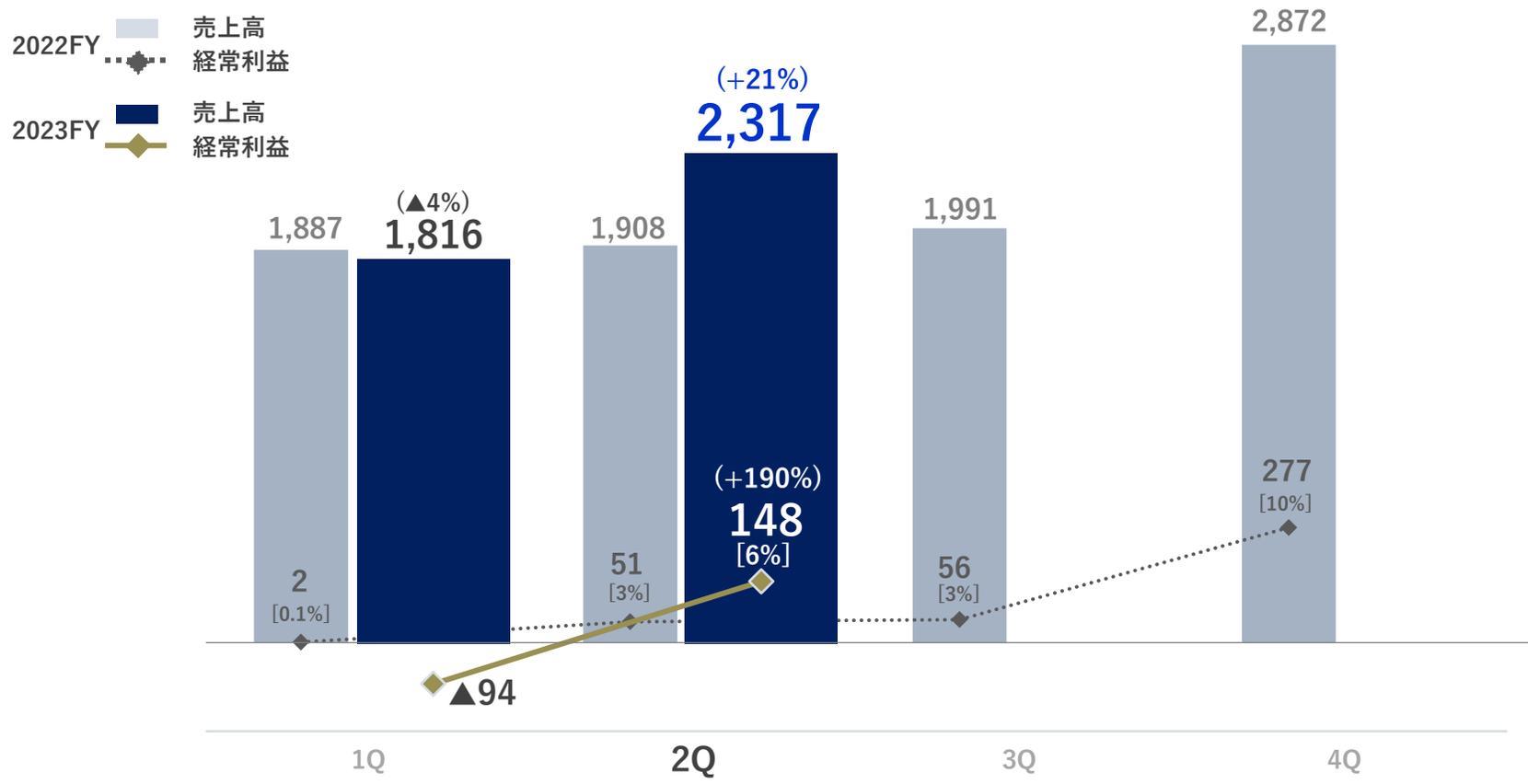
単位：百万円



2023FY 2Q Summary

2Qは前年同期に比べ、売上高+21%、経常利益2.9倍の増収増益
対1Q比では約2.4億円の増益

単位：百万円 () 前年同期比 [] 利益率 ※マイナスの場合は省略



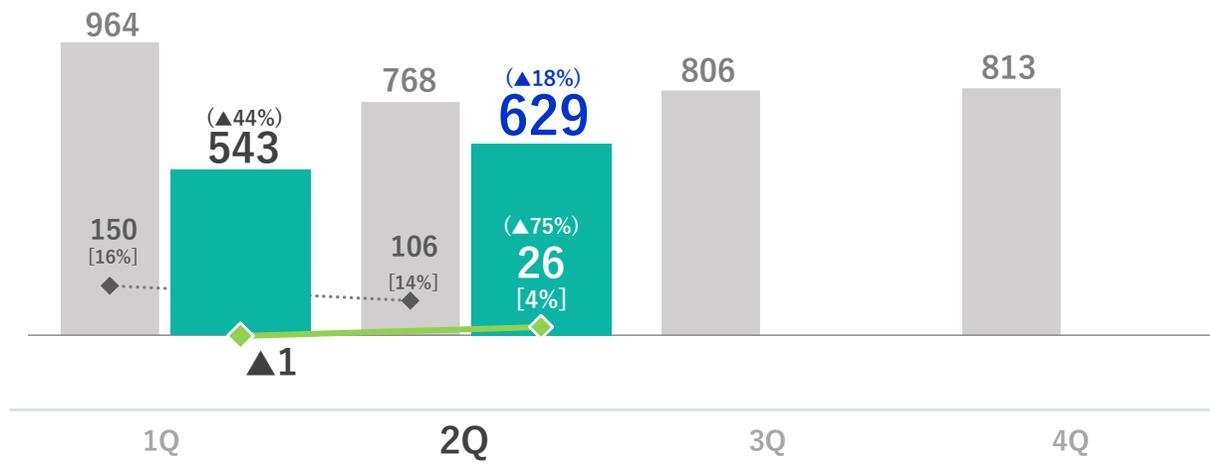
2023FY 2Q Summary

Nintendo Switchソフトの海外販売一巡により前年同期比では減収減益なるも、メディカル、ヘルスケア、フィンテック等のクラウドサービスが順調に推移し、前四半期比では増収増益

単位：百万円 () 前年同期比 [] 利益率 ※マイナスの場合は省略

2022FY 売上高
セグメント利益

2023FY 売上高
セグメント利益



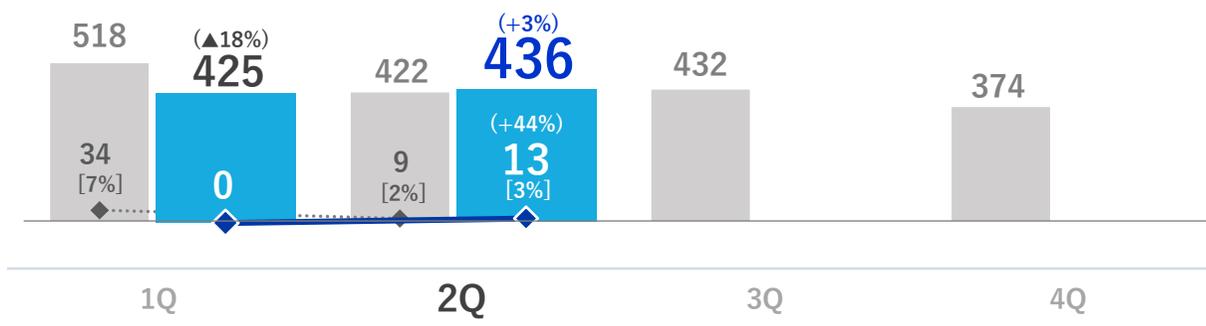
2023FY 2Q Summary

AIチャットボットは前期からの好調を継続、AI領域への開発リソースシフトやSaaS拡大に向けた営業体制の強化などの先行投資を継続

単位：百万円 () 前年同期比 [] 利益率 ※マイナスの場合は省略

2022FY ■ 売上高
◆ セグメント利益

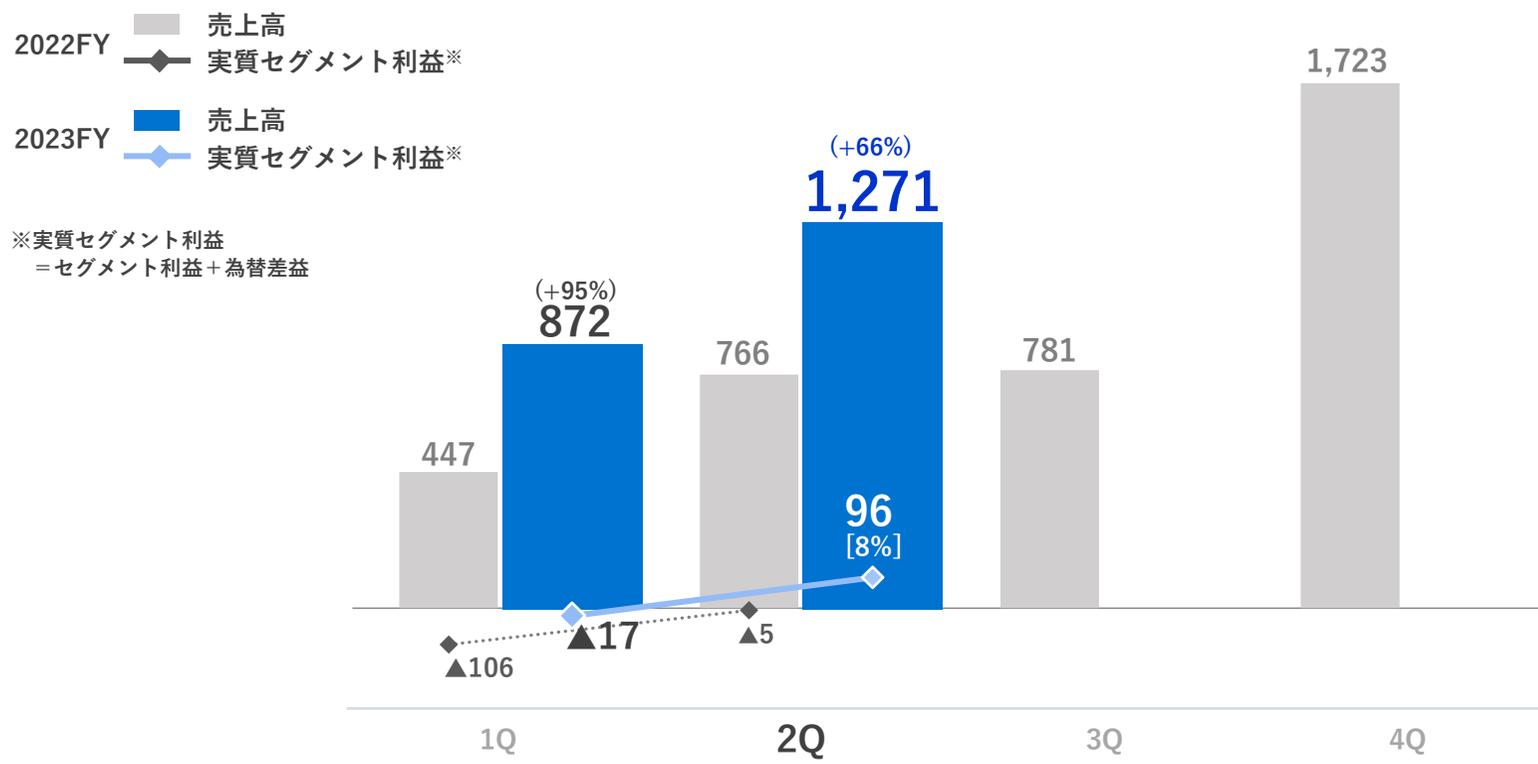
2023FY ■ 売上高
◆ セグメント利益



2023FY 2Q Summary

IoT関連のODMの復調と生産拡大による新工場の稼働率向上等により利益率が改善、前年同期比および前四半期比で大幅な増収増益を達成し黒字転換を実現

単位：百万円 () 前年同期比 [] 利益率 ※マイナスの場合は省略



固定資産の増加と現預金の減少

- ・CVCの立上げおよびベンチャー企業への出資
- ・AI、LD分野を中心としたソフトウェア開発投資

負債の減少と純資産の増加

- ・賞与引当金や長期借入金の減少
- ・保有有価証券の評価替えによるその他の包括利益累計額の増加
⇒自己資本比率の増加

単位：百万円	前年度末(23/2)	当期末(23/8)	増減		前年度末(23/2)	当期末(23/8)	増減
流動資産	6,160	5,117	▲1,043	流動負債	1,583	1,453	▲130
現金及び預金	2,983	2,249	▲734	契約負債	128	247	+119
受取手形、売掛金及び 契約資産	1,705	1,394	▲311	短期借入金・1年内 返済予定の長期借入金	399	418	+19
前渡金	98	300	+202	その他	1,056	789	▲267
棚卸資産	918	875	▲43	固定負債	844	676	▲168
その他	456	300	▲156	負債合計	2,427	2,130	▲297
固定資産	1,860	2,803	+943	株主資本(自己株式除く)	5,412	5,401	▲11
有形固定資産	210	260	+50	その他の包括利益累計額	131	327	+196
無形固定資産	551	832	+281	新株予約権・非支配株主持分	50	62	+12
投資その他の資産	1,099	1,710	+611	純資産合計	5,593	5,790	+197
資産合計	8,021	7,920	▲101	負債・純資産合計	8,021	7,920	▲101
				自己資本比率	69.1%	72.3%	+3.2p



II .2024年2月期 業績見通し

業績予想、配当予想とも期首予想を維持

単位：百万円	2022FY 実績	2023FY 予想	前年同期比
売上高	8,659	10,200	+1,541
経常利益	386 (4.5%)	500 (4.9%)	+114 (+0.4p)
親会社株主に帰属する 純利益	262 (3.0%)	360 (3.5%)	+98 (+0.5p)
ROE	4.7%	6.3%	+1.6ポイント
一株あたり 配当金	5円	6円	+1円

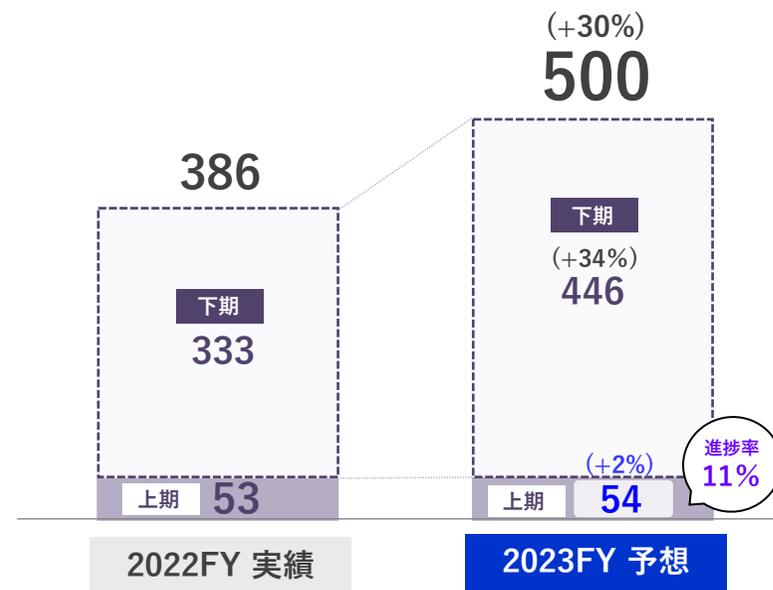
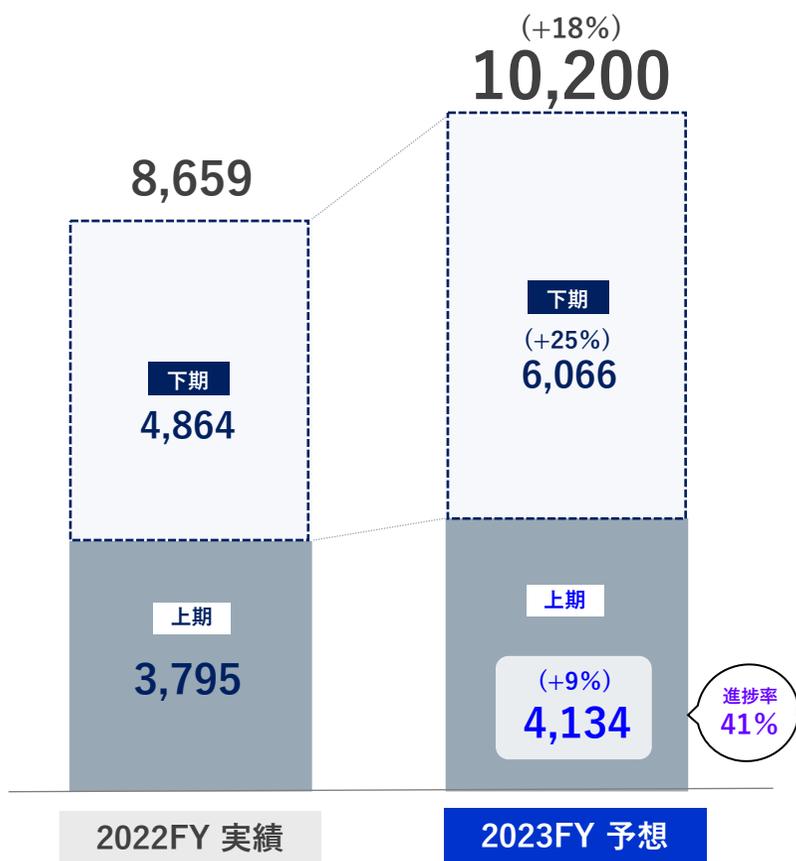
年間予想に対する上期業績進捗は、売上高41% 経常利益11%

単位：百万円 ()内は前年同期比

売上高

※外部売上のみ

経常利益



ライフデザイン事業

単位：百万円

売上高

※外部売上のみ

セグメント利益

3,760

下期

2,588

上期

1,172

進捗率
31%

490

下期

466

上期

24

進捗率
5%

2023FY 予想

下期見通し

- ◆Nintendo Switch新作ソフト「クレヨンしんちゃん『炭の町のシロ』」の今冬発売を発表、9月に行われた新製品情報発表“Nintendo Direct”において3rdPARTY製ソフトNo.1の視聴数を記録（9月末時点）
- ◆医療介護向けDX【KarteConnect】健康経営支援サービス【RenoBody】プリペイド決済サービス【ValueWallet】等のクラウドサービスのさらなる拡大
- ◆当社サービスと親和性がある教育やヘルスケアプロデュース等のソリューション案件の拡大に注力

AI&クラウド事業

単位：百万円

売上高

※外部売上のみ

セグメント利益



2023FY 予想

下期見通し

- ◆AIチャットボットサービス
【OfficeBot】 powered by ChatGPT API等を中心にSaaS事業が順調に拡大、売上拡大の継続による下期収益化を見込む
- ◆SaaSと並行してAI領域のソリューションを強化、新しいプロダクトや技術強化に向けた研究開発や、リソース拡充対策への取り組みを推進

コネクテッド事業

単位：百万円

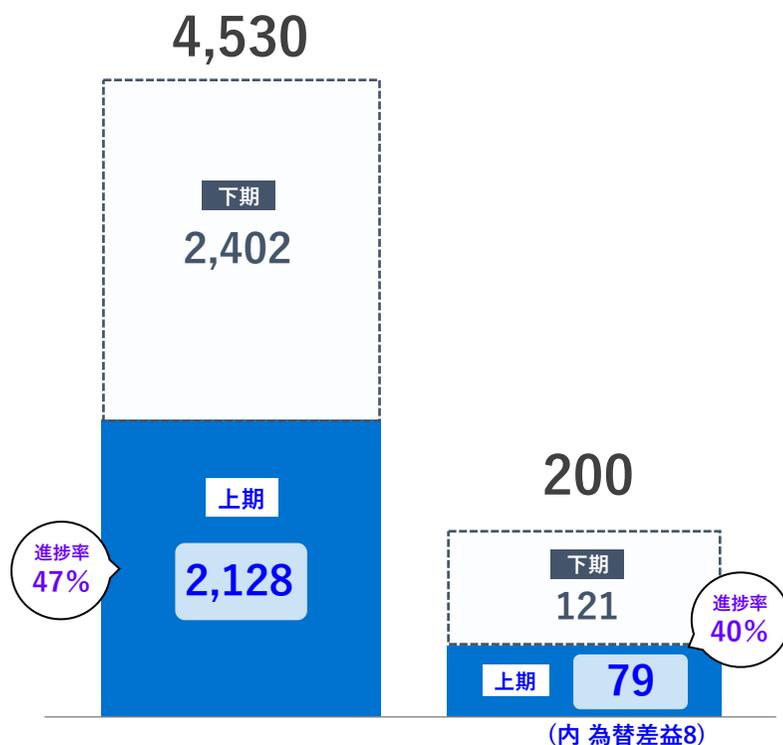
売上高

※外部売上のみ

実質セグメント利益

=セグメント利益+為替差益

下期見通し



2023FY 予想

- ◆ODMはコロナ禍からの立て直しが概ね完了、受注拡大に向けインバウンド回復やさらなるIoT需要開拓への取り組みを継続
- ◆自社ブランド「aiwa」は法人、コンシューマ両チャネルに対して拡大策を実施、下期は新製品投入も含めたさらなる売上拡大を目標



III. Appendix

所在地	東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館10F
連結従業員数 (2023年8月末現在)	484名 (国内273名・海外211名)
設立	2004年4月
上場 (証券コード：3627)	2008年5月 東証マザーズ上場 2012年1月 東証第一部へ市場変更 2022年4月 東証再編に伴いプライム市場へ移行
資本金 (2023年8月末現在)	2,409,496千円 発行済株式数 12,459,800株
連結子会社	ネオス株式会社 JENESIS株式会社 スタジオプラスコ株式会社 Neos Vietnam International Co., Ltd (ベトナム) 創世訊聯科技(深圳)有限公司 (中国) 創紀精工(東莞)有限公司 (中国) スマはっちゅう株式会社 アイワマーケティングジャパン株式会社
決算期	2月

TechnologyとCreativeで未来を創る

コンテンツ・ソフトウェア・ハードウェアを網羅した技術力と創造力で
ミラクルな未来をデザインしてまいります

CharaTech



キャラクターコンテンツ



キッズアプリ

AIチャットボット

OfficeBot powered by ChatGPT API

AI・クラウド ソリューション

ChatGPT Solution



aiwa



HealthTech

歩数計アプリ
RenoBody

医療介護DX



ライフデザイン

デジタルテクノロジーにより
生活を便利で豊かにする
サービスやソリューションを提供

EdTech



教育コンテンツ

FinTech

プリペイド決済



酒販卸向けDX



AI&クラウド

先進技術を駆使したSaaSや
Techソリューションで
企業のDやビジネスを支援

クラウドアドレス帳



POCKETALK シリーズ



コネクテッド

コネクテッドデバイスなど
モノとインターネットの融合による
新たな価値を創造



各種IoTデバイス



見守りGPS



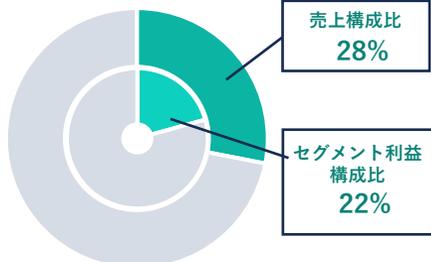
スマートロック

New

ライフデザイン事業

23FY上期

売上高
1,173百万円
セグメント利益
24百万円



Business Domain

コンシューマサービス

- Nintendo Switch等のキャラクターコンテンツ
- 知育・教育等のキッズアプリ

B to B サービス

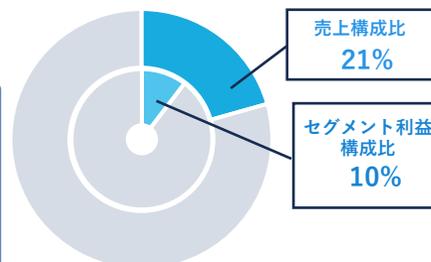
- 教育/メディカル/ヘルスケア/決済領域におけるソリューション
- 同分野におけるクラウドサービスの提供
 - ・健康支援サービス「RenoBody」
 - ・ハウスマネー決済サービス「ValueWallet」
 - ・医療介護向けDX「KarteConnect」
 - ・酒販業界向けDX「スマはっちゅう」

等

AI&クラウド事業

23FY上期

売上高
861百万円
セグメント利益
12百万円



Business Domain

SaaS

- AIチャットボットサービス「OfficeBot」
- クラウドアドレス帳サービス「SMARTアドレス帳」

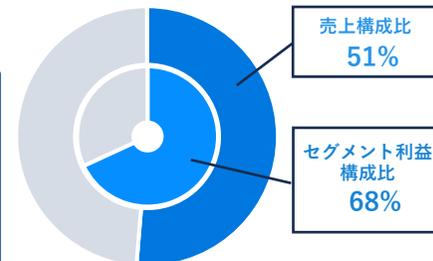
ソリューション

- ChatGPTソリューション
- AWS、Kintone等のクラウド導入、運用やスクラッチ開発

コネクテッド事業

23FY上期

売上高
2,143百万円
セグメント利益※
79百万円



Business Domain

ODM

- 通信デバイスの開発・製造・保守・カスタマーサポート
- デバイスに対応したアプリやプラットフォームの開発

自社プロダクト

- 自社ブランド「aiwa」製品シリーズ

※実質セグメント利益（セグメント利益+為替差益）

知育・教育／健康／FinTech／キャラクター利用等の分野において デジタルテクノロジーを活用したライフデザインサービスとソリューションを提供

事業の歩み

- ガラケー時代の創業当初、通信キャリアや端末メーカー向けにコンテンツ制作、サービス開発から組み込みソフトまで幅広く対応
- スマホ転換期、通信キャリアのビジネスモデル変容により、コンテンツ力やサービス力を活かした自社ビジネスへのシフトとそのノウハウを基にしたソリューションに転換

高度なクリエイティブ力とコンテンツ制作力をベースにキャラクター版権元との強固なパートナーシップを構築



コンシューマサービス

人気キャラクターIPをフックにクリエイティブ力を活かした多彩なコンテンツを世界中に展開



キャラクターコンテンツ



キッズアプリ

コンテンツナレッジや業界知識の知見を活かしたBtoBサービスを提供、併せてサービスプロデュースや関連システム開発などのソリューション事業も展開



BtoBサービス

ソリューションで培って来た業種知識を活かした法人向けクラウドサービスを提供



自社サービスのノウハウを活かせる教育、メディカル・ヘルスケア、決済領域でのソリューションを展開



教育コンテンツ



メディカルサービス



ヘルスケアサービス



決済ソリューション

AIチャットボット及びクラウドアドレス帳サービスなどのSaaSやAWS等を活用したTechソリューションを提供

事業の歩み

- 通信キャリア向けのサービスやシステム開発に始まり、ITの進展とともに一般法人においてもクラウドなどの技術を活用した業務システムやサービス開発を支援
- AIやクラウドなど先進技術における研究開発を積極的に推進
これを応用したチャットボットや法人向けアドレス帳などの自社サービスをいち早く提供開始

アプリ、クラウドやAI等の自社開発技術に加え
生成AIなど新しく登場した技術を活用し
自社SaaSを構築・展開



SaaS

独自開発の技術やサービスノウハウを活かし
組織内の業務を最適化するSaaSを提供



AIチャットボット



クラウドアドレス帳

SaaSと併せて、顧客固有の
ニーズに応じた最先端の実用テクノロジーを用いた
ソリューションを展開



ソリューション

自然言語処理やクラウドなどの
豊富な知見・開発力により
ビジネスのイノベーションや企業DXを支援

ChatGPT Solution



通信デバイスの開発・製造や、デバイス活用におけるプラットフォーム・アプリケーション開発を通じて
モノとインターネットを融合した価値を提供

事業の歩み

- JENESISが保有する2拠点の中国工場と宮崎カスタマーサポート拠点により海外コスト×日本品質を実現するODM事業を確立
- ODMで培ったノウハウを活かし、法人向けのICTデバイスを中心とした自社製品事業も並行して展開



設計から試作・量産・保守・カスタマーサポートまで
一気通貫による独自の事業体制
さらにネオスとの連携によりデバイスのみならず
アプリからシステム開発まで対応



ODM

製造実績500機種以上
製品種別を問わず、ソフトウェア領域までカバーした
幅広いODMサービスを展開



みてねみまもりGPS
GPS・見守り



「POCKETALK」シリーズ



法人向けICT製品

国内メーカーとしての基盤確立に向けて
オーディオブランド“aiwa”の商標使用権を取得
デジタルの付加価値を備えた新生「aiwa」として展開



aiwa

自社プロダクト

国内ブランドの安心感と
JENESISならではのコストパフォーマンスを
兼ね備えた多彩な製品を販売



スマートフォン/タブレット



スマートウォッチ



電子楽器

発行済み株式総数 12,459,800株
(+120,300)

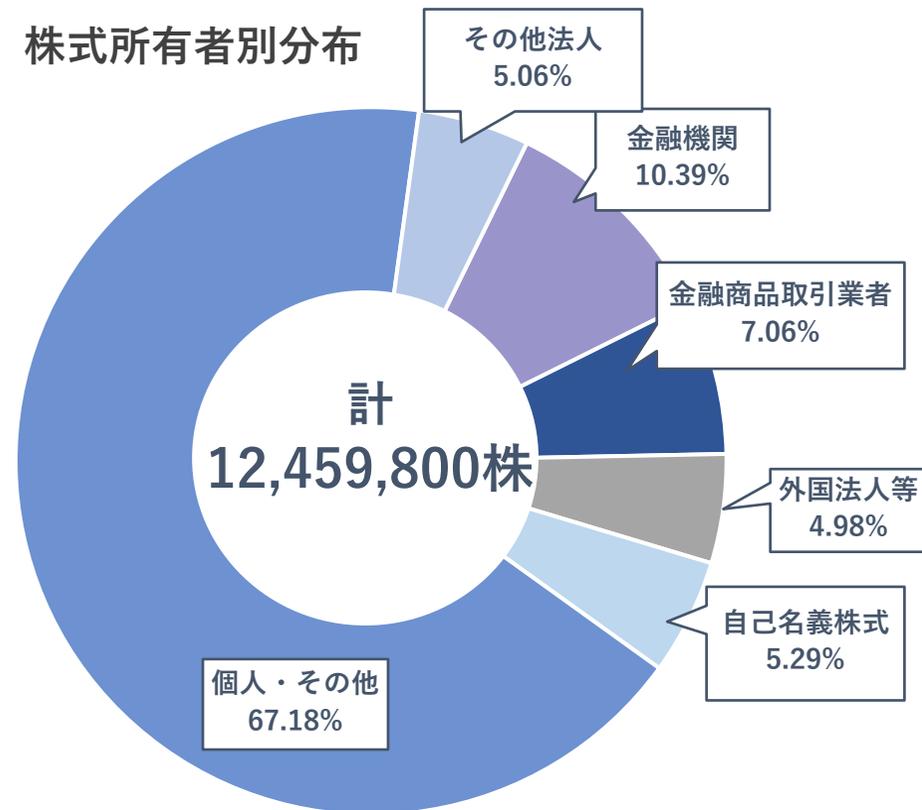
株主数 7,636名
(+130)

※()内は対前年度末

大株主(上位10名)

	所有株数(株)	持株比率(%)
池田 昌史	1,877,800	15.91
太陽生命保険株式会社	570,000	4.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	391,300	3.31
藤岡 淳一	370,600	3.14
SOCIETE GENERALE PARIS/BT REGISTRATION MARC/ORT	363,200	3.07
シャープ株式会社	360,000	3.05
井川 等	217,000	1.83
楽天証券株式会社	182,200	1.54
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	181,400	1.53
株式会社SBIネオトレード証券	176,600	1.49

株式所有者別分布



※ 持株比率は自己株式数(660,105株)を控除して計算しております。

TechnologyとCreativeで 未来を創る

テクミラグループは「Technology」と「Creative」をもって
社会を彩るミラクルな未来を創造してまいります

IR メールニュース
ご登録はこちら <https://www.tecmira.com/ir/mailnews/>

当社IRに関する最新情報をタイムリーにお届け致します



シェアードリサーチ社による
当社の調査レポートはこちら



<https://sharedresearch.jp/ja/companies/3627>

